

令和4年度第1回コミュニティ・スクール委員会

(清水・御影 CS 委員会合同開催)

会 議 録

1 出席委員等

清水 CS 委員会~宮城委員、土屋委員、小室委員、中村委員、薩摩委員、石井委員、
横山委員、下坂委員、松橋委員、近藤委員 欠席~長尾委員、森委員

御影 CS 委員会~米光委員、山田委員、中村委員、久野委員、田中委員、谷口委員、
森委員 欠席~ 野田委員、細田委員、

【教育委員会】 山下教育長(教育指導幹兼務)

【事務局】 大尾学校教育課長、安ヶ平社会教育課課長、太田同課参事、野田教頭、
平野教頭、津田教頭、三木教頭、堀口教頭、休宮教諭、和泉教諭、上
出 CS コーディネーター

2 場 所 清水町文化センター大集会室及び会議室 2

3 日 時 令和4年4月20日(水)19時30分

しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議に引き続き開会

4 傍聴人数 なし

5 会議内容

学校運営協議会(CS委員会)委員の任命

教育長より各 CS 委員会代表に交付し、その後、各委員会において学校教育課長及び
CS コーディネーターより各委員に手交する

委員長及び副委員長の決定

委員会会則により本年度は両中学校 PTA 会長に委員長として決定

副委員長は委員長指名により清水 CS 委員会は小室委員に、御影 CS 委員会は田中委員
に決定

説明・協議事項

合同会議は CS コーディネーターが議事進行

(1)コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について(事務局説明)

学校教育課長より資料に基づき制度を説明

(2)各学校等の経営方針について(各学校等から説明)

第 1 回しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議における説明及び幼稚園については清水 CS 委員会における説明をもって CS 委員会説明とする。

清水幼稚園長、清水・御影小学校長及び清水・御影中学校長から本年度経営方針を『教育のデザイン「企画編」』を用い説明あり。

清水及び御影に分散した後に各 CS 委員会において、全委員からの承認を得た。

(3)熟議

清水 CS 委員会は 3 分散会、御影は 2 分散会で討議し、大集会室にて清水 CS 委員会からは C 班、御影 CS 委員会からは A 班より、各々の委員会の代表として発表を行う。

熟議①しみず「教育の四季」取組の今年度の重点について

しみず「教育の四季」12 の窓のシートを参照し、社会全体で子供たちを育むための家庭・学校・地域が年間を通し特に重点として取り組むべき事項について討議する。

清水 A 班

家庭	学校	地域
時間と約束を守ることの大切さを育むために、まずは大人が手本を示す必要がある。	読書により想像力を育む。人の痛みがわかる子どもに。失敗しても立ち直る力を育む。そのためには励ましてくれる人が周りいて、存在を認めてくれることが必要。コミュニティにおいて信頼できる大人がいることが大切であり、ボランティアとしての関りが重要となる。	

清水 B 班

家庭	学校	地域
読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none">・スマホの使い方(距離感)・地元の魅力を感じ取る活動(地元との関わりや体験的な活動の充実)を通して、清水町への愛着心を育む。	

清水 C 班

家庭	学校	地域
<ul style="list-style-type: none">・思いやりのある心を育てたい。・一日を健やかに過ごすためには朝ごはんが基本。・家庭でのスポーツ	<ul style="list-style-type: none">・思いやりの心を集団で育てほしい。・いろいろなことにチャレンジできる環境を整える。	気持ちの良いあいさつ。声を出す。難しければ会釈を

御影 A 班

家庭	学校	地域
----	----	----

片付けをほめて認める。 自主的に動くように、失敗ができる家庭づくり。 過程を見てあげるコツが大事。	・三つの「あ」運動(あいさつ、あとかたづけ、ありがとう)を辛抱強く取り組む。 ほめるなど、子供との丁寧なコミュニケーションを増やす。	地域でのあいさつ、声かけ。 積極的なコミュニケーション。
---	---	---------------------------------

御影 B 班

家庭	学校	地域
感性を豊かに育むために読書を推進。	・読書環境整備 御影中学校では図書室に通う生徒が多くなった。	・地域ボランティアの活用 様々な地域の名人(昔遊びや一輪車)を講師として招き、児童が体験を通して学ぶようにする。

熟議②CS 委員会として、子供たちのためにできることについて

CS 委員会として、取り組めることはないかを協議願う。

清水 A 班

PTA 事業に協力することもできるのではないかな。花壇の除草等

清水 B 班

- ・中学校の大掃除を子供たちとやることにより子供たちの視野も広がる。
- ・体験・経験を広げ、考える力を育むためには、読書活動の充実が必要であり、小学校に限らず中学校においても読み聞かせができないか。

清水 C 班

- ・CS 委員には授業参観や行事を見てもらい子供たちに知ってもらいたい。
- ・学校からの情報提供により、花壇整備や校地清掃などに協力をしていただきたい。
- ・学校へのボランティア一覧の提供により教員が地域の人材を知ることができたので、学校としては、今後とも様々な地域の力を持つ方の協力を得たい。

御影 A 班

- ・遊びの教室を実施することにより、地域とのコミュニケーションをとる場を作る。
- ・CS 委員として大人から挨拶をする。

御影 B 班

- ・地域ボランティアや様々な地域の名人の発掘及びコーディネート。
- ・大人とのコミュニケーションが取れる場づくり。
- ・CS 委員が率先してあいさつする雰囲気。
- ・見守りをさせていただく方へのあいさつの指導。
- ・遊びの場づくり。

出された意見は今後、事務局において検討のうえ、①については一本化することの
了承を得え、②については、今後の CS 委員の活動の参考とする。

(4)その他

特になし

学校教育課長の閉会あいさつにより終了。

(20時32分)